事業の基本情報

1.水。至于111水									
事務事業名	183 文化団体等育成支援事業								
予算科目	01-030	110	-15 文化行		5経費		担当部課	市民部文化芸術課	
市長公約							係名	文化振興係	
							新規·継続	継続	
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)	
							事業体制	補助金(直接)	
個別計画	つくば雨		化芸術推進	進基本計画	(第2期)		事業期間	毎年度	
1回方1百1 四							11住み続けられるまちづくりを		
	つくば市補助金交付適正化規則、つくば市文化協会補 助金交付要綱						an a	17パートナーシップで目標を達成しよ	
根拠法令等							SDGs		
	,,==,,,,,,								

事業の概要

1 /10 - 100	
対象	つくば市文化協会
目的	つくば市内文化団体の育成・支援を図り、各団体の文化活動を活性化させる。
概要 (取組内容)	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算	草額	(千円)	1, 200	1, 200	1, 200	1,500	1, 500
事	決算	草額	(千円)	1, 200	1, 200	1, 200	0	0
業		一般財源	(千円)	1, 200	1, 200	1, 200	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	2, 166	2, 836	2, 243	691	691
人		正職員従事割合	(人)	0.30	0.40	0.30	0. 10	0. 10
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	50.00	30.00	30.00	0.00	0.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば
企画・立案、計画	代表者会議
実行	つくば市文化協会による自主事業
評価、検証	アンケート調査

1 H 1	业 ^ / 1 正 化	y					
	指標名	加盟団体数			(団体)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	80.0	80.0	80. 0	80. 0	80.0	80.0
1	実 績	55. 0	58. 0	59. 0	57. 0	56. 0	57. 0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要)					

前年度の課題への対応		体験型の事業を増やし、市民との交流を促進することができた。
	成果	文化協会に所属する団体間の交流が活発に行われたほか、文化協会主催事業の実施や広報誌の発行によって市民との交流も促され、文化活動の活性化につながった。
課	業務	交流センターや市民ホール等、既存の活動場所以外の場所での事業を検討する。
題	組織、予算等	会計処理を含む事務作業に係る会員の負担軽減を図る。
改善目標		事務処理の手順の見直しに向けた協議や助言を行う。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

17米~至上山14									
事務事業名	184 (公財) つくば文化振興財団支援事業								
予算科目	01-0	030	110-	-15 文化行		る経費		担当部課	市民部文化芸術課
市長公約								係名	文化振興係
								新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	補助金(直接)
個別計画	つく	ばす	7文	化芸術推進	進基本計画			事業期間	毎年度
								11住み続けられるまちづくりを	
	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 、つくば市補助金交付適正化規則、公益財団法人つく ば文化振興財団運営費補助金交付要綱等						CDC	17パートナーシップで目標を達成しよ	
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

$_{\rm T}$	
対象	(公財)つくば文化振興財団
目的	多彩な事業を担う公益財団法人つくば文化振興財団に対し財政支援を行うことで健全経営を図り、文化芸 術振興事業を通し市民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与する。
概要 (取組内容)	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。

コストの推移

		-> 1E D						1
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算	算額	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10, 000
事	決算	算額	(千円)	10,000	10,000	10,000	0	0
業		一般財源	(千円)	10,000	10,000	10,000	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	2, 944	3, 527	2, 243	764	764
人		正職員従事割合	(人)	0.40	0.50	0.30	0. 10	0.10
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	90.00	30.00	30.00	30.00	30.00
具	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		経営改善に向けた協議や経営改善に関わる情報提供を行った。
成果		公益財団法人であることから、収益事業などに様々な制限がある中で財団の運営は行われているが、財団の自助努力で創意工夫のもとに事業運営が図られた。
課	業務	財団の経営状況について、引き続き密に連携を取り、課題を精査していく必要がある。
題	組織、予算等	今後の経営改善に向けて、引き続き協議していく必要がある。
ç	女善目標	文化芸術事業や指定管理事業など、収支に関わる部分の見直しをしていく必要がある。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

事務事業名	187	187 ノバホール管理運営事業(指定管理者制度)								
予算科目	01-030	0113	-11 ノバオ	トール維持管	管理に要する	る経費	担当部課	市民部文化芸術課		
市長公約							係名	文化施設係		
							新規・継続	継続		
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)		
							事業体制	指定管理者		
個別計画	つくば	市文	化芸術推進	進基本計画			事業期間	毎年度		
								11住み続けられるまちづくりを		
	つくば	市立	ノバホーバ	 レ条例			ar.a	17パートナーシップで目標を達成しよ		
根拠法令等	,			SDGs						

事業の概要

対象	市民
目的	芸術文化振興の中核施設であるノバホールの適正な運営、利用者の利便性向上と安全の確保を図る。
概要 (取組内容)	公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算	草額	(千円)	217, 214	232, 692	250, 940	138, 138	138, 138
事	決算	草額	(千円)	231, 526	206, 954	231, 714	0	0
業		一般財源	(千円)	231, 526	206, 954	231, 714	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	7, 807	10, 673	11, 159	8, 601	8, 601
人		正職員従事割合	(人)	1. 10	1. 50	1. 50	1. 20	1. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	129. 00	129.00	129. 00	129. 00	129.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等で情報発信
企画・立案、計画	_
実行	_
評価、検証	利用者アンケート調査

	指標名	施設稼働率(ホー/	レ)		(%)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	80. 0	80.0	80. 0	80. 0	0.0	0.0
1	実 績	78. 0	34. 0	46. 9	66. 9	0.0	0.0
	指標の 概要	令和5年度から指					

	指標名	施設利用率(ホー	ル)		()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
2	実 績	79. 6	33. 9	56. 3	74. 2	66. 5	76. 9
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	14 // 4/ 1 -	- 0///
前年度の課題への対応		経年劣化等による突発的な修繕に対し、指定管理者や業者との連絡調整を密にし、迅速な対応ができた。
成果		指定管理者と定期的な報告や意見交換を行い情報を共有することで、管理運営上の問題点や利用者ニーズを詳細に把握し、施設管理や利用者ニーズの向上に努めることができた。また、緊急を要する修繕や改修工事による長期休館、光熱費高騰に係る補償についても、最善策をとれるよう両者で協議の上、迅速に対応した。
課	業務	施設に不具合が生じた場合、関係各所との密な連絡調整が必要となる。また、開館から40年以上経過した 施設であることから、計画的な修繕と突発的な修繕への対応が必要となる。
題	組織、予算等	開館から40年以上経過した施設であり、令和3年度に策定した「長寿命化改修計画」に沿って長寿命化改修工事を行っていく必要があるが、指定管理者制度を導入していること、利用率が高いことから最低限の休館で改修を計画する必要がある。
ţ	女善目標	指定管理者との意見交換を計画的に実施し、安全な施設運営と維持管理を行い、利便性の向上を図る。長寿命化改修計画に基づき、優先順位や必要性を考慮し、施設の計画的な修繕を行う。また、利用者等の安全確保のため、不具合が発生した設備についても修繕を行う。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

77 1.313	
方向性	継続
理由	

事業の基本情報

事務事業名	188	188 つくばカピオ管理運営事業(指定管理者制度)						
予算科目	01-030	01-030114-11 つくばカピオ維持管理に要する経費					担当部課	市民部文化芸術課
市長公約							係名	文化施設係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)
							事業体制	指定管理者
個別計画	つくば市	ī文	化芸術推進	基本計画			事業期間	毎年度
								11住み続けられるまちづくりを
	つくばオ	ァヒ [°]	 オ条例				an a	17パートナーシップで目標を達成しよ
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

対象	市民
目的	文化・スポーツ活動の中核施設であるつくばカピオの施設管理及び貸館業務において適正な運営を図るとともに、利用者の利便性向上と安全の確保を図る。
概要 (取組内容)	公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

コストの推移

	2 × 1 × 2 In [2]							
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算額		(千円)	506, 028	605, 653	372, 702	280, 171	280, 171
事). I dealer storm		(千円)	502, 909	499, 765	371, 722	0	0
業	内訳	一般財源	(千円)	502, 909	499, 765	371, 722	0	0
費		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	7, 807	10, 673	11, 159	8,601	8, 601
人		正職員従事割合	(人)	1. 10	1. 50	1. 50	1. 20	1.20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	129. 00	129.00	129. 00	129. 00	129. 00
具	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等で情報発信
企画・立案、計画	_
実行	_
評価、検証	利用者アンケート調査

	指標名	施設稼働率(アリ	ーナ)		((%)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	93. 0	93. 0	93. 0	93. 0	0.0	0.0
1	実 績	87. 0	80.0	87. 0	87. 9	0.0	0.0
	指標の 概要	予和5年度から指標2を使用					

	指標名	施設利用率(アリ	ーナ)		(%)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	93. 0	93. 0	93. 0	93. 0	93. 0	93. 0
2	実 績	100.0	99. 3	99. 3	99. 4	100.0	100.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0		0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

_ 1 · /	サ 木*////// こ				
前年度の課題への対応		経年劣化等による突発的な修繕に対し、指定管理者や業者との連絡調整を密にし、迅速な対応ができた。また、カフェ跡地の利活用について市の方向性を示し、具体的な内容を協議・検討をした。			
成果		指定管理者と定期的な報告や意見交換を行い情報共有することで、管理運営上の問題点や利用者のニーズを詳細に把握し、施設管理や利用者ニーズの向上に努めることができた。また、緊急を要する修繕や改修工事による長期休館、光熱費高騰に係る補償についても、最善策をとれるよう両者で協議の上、迅速に対応した。			
課	業務	長寿命化改修工事において全庁的に見直しとなったため、経年劣化による突発的な修繕や貸館業務に支障をきたす恐れのあるホール、アリーナの計画的な改修や機器の更新が必要となる。また、カフェ跡地の利活用について市の方向性に基づき業務を進める。			
題	組織、予算等	長寿命化改修工事において全庁的に見直しとなったことを踏まえ、突発的な修繕や貸館業務に支障をきたすホール、アリーナの改修や機器の更新を計画的に行う。また、カフェ跡地の利活用については実施に向けて施設を整備する。			
改善目標		指定管理者との意見交換を実施し、安全な施設運営と維持管理を行い、利便性の向上を図る。中長期的な 修繕計画に基づき、優先順位や必要性を考慮し、施設の計画的な修繕を行う。また、利用者等の安全確保 のため、不具合が発生した設備等についても修繕を行う。			

評価

H I III		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

<u> </u>	13 TA								
事務事業名	162 文化芸術創造拠点整備事業								
予算科目	01-0	030	110	-24 文化芸	长術創造拠点	点整備に要っ	ける経費	担当部課	市民部文化芸術課
市長公約	1:	22		123				係名	文化振興係
								新規・継続	新規
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)、つくば市 文化芸術創造拠点基本計画						事業期間	期間限定複数年度	
								11住み続けられるまちづくりを	
	文化芸術基本法、つくば市文化芸術基本条例							ar.a	17パートナーシップで目標を達成しよ
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

1 /1 - 100-	
対象	市民、文化芸術活動をする者、市内の教育・研究・産業など地域の文化資源を形づくる人・モノ
目的	「アートで編む」を実現・継続していくための文化コミュニティを形成するため、市の資源や個性をいかした魅力ある文化芸術を創造する文化施設の整備を行う。
概要 (取組内容)	廃校である田水山小学校を、アーティストが作品制作や発表の場として利用するほか、地域のコミュニティスペースとして利用できる施設として整備する。

コストの推移

		· - 1ED						
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算額			0	0	23, 176	396, 358	453, 734
事	決算	算額	(千円)	0	0	24, 025	0	0
業費		一般財源	(千円)	0	0	24, 025	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	17/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	0	0	7, 574	8, 628	8, 628
人		正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1. 20	1.20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	140.00	140.00	140.00
具	II/C	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市民説明会
企画・立案、計画	つくば市文化芸術審議会、市民説明会での意見徴取、市民アンケート
実行	
評価、検証	つくば市文化芸術審議会

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
2		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名	_			()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
'	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
事 >	生の中田	し無題		·		·	

	年度の課への対応	
	成果	当初の予定どおり、令和6年度中に設計業務を完了した。また、市民向けワークショップを実施し、市民の意見を徴することができた。
課	業務	設置管理条例や業務内容を検討する必要がある。
題	組織、予算等	供用開始に向け、職員配置や詳細な予算を検討する必要がある。
改善目標		令和8年度中の供用開始に向け、施設のあり方を詳細に検討する。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

17米~至上山水								
事務事業名	182 芸術文化公演事業							
予算科目	01-030110)-15 文化行	政に要する	5経費		担当部課	市民部文化芸術課	
市長公約	122 123					係名	文化振興係	
	I -2 3 1	文化芸術	こよる自己	表現・交流	の機会の推	新規・継続	継続	
戦略プラン	Ⅰ-2 3 4 市内文化芸術活動の支援			事業分類	自治事務 (任意)			
						事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文	化芸術推進	基本計画	(第2期)	事業期間	毎年度		
						11住み続けられるまちづくりを		
	文化芸術基	 本法			an a	17パートナーシップで目標を達成しよ		
根拠法令等	つくば市文	化芸術基本	条例		SDGs			

事業の概要

対象	市民
目的	市民が優れた文化芸術作品等に接する機会の拡充を図るとともに、創造性豊かな潤いある街づくりを目指す。
概要 (取組内容)	つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅 広いジャンルの文化芸術事業を実施する。 芸術性の高いクラシック公演に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールを会場として、 良質なプログラムを厳選して開催する。 また、市内で活動するアーティストや文化芸術団体へ、出演機会の提供などの支援を行う。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算	草額	(千円)	61, 938	68, 382	47, 749	47, 445	47, 445
事	決算	草額	(千円)	54, 598	54, 128	37, 986	0	0
業		一般財源	(千円)	54, 598	54, 128	37, 986	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	12, 311	14, 444	11, 485	6, 157	6, 157
人		正職員従事割合	(人)	1. 70	2.00	1. 50	0.80	0.80
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	300.00	260.00	260.00	260.00	260.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、つくスマアプリ、掲示板等での情報発信及びアンケート
企画・立案、計画	
実行	アウトリーチ・ワークショップ等の参加型事業の実施
評価、検証	文化芸術市民意識調査、アンケート調査

	指標名	芸術文化公演事業入場率 (%)							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		
	目標値	80.0	80.0	80.0	80. 0	80. 0	80.0		
1	実 績	63.8	56. 3	56. 8	70. 2	67. 0	81.0		
	指標の 概要	(個別施策Ⅰ-2							

	指標名	支援団体数			(組)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	10. 0	3. 0	3. 0	7.0
2	実 績	0.0	0.0	6.0	7. 0	7. 0	8.0
	指標の 概要	(個別施策Ⅰ-2-	- ③文化芸術の推進	進及び文化財の保有	芝と活用)		
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
В	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		収支バランスを考慮した事業の実施について、協議・助言を行った。
成果		文化芸術の拠点施設であるノバホール・つくばカピオを主な会場として、幅広いジャンルの作品を提供した。共催事業を多く実施したほか、入場率の高い公演を多く実施できた。また、市内小中学校でのアウトリーチ事業等、体験・育成型の事業を多く実施した。
課	業務	つくば文化振興財団との連絡を密に行い、つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)を踏まえた事業を実施していく必要がある。
題	組織、予算等	限られた予算の中で満足度の高い企画を実施していくために、企画内容、実施方法などを検討していく必要がある。
改善目標		実施する企画内容を精査し、引き続き収支バランスを考慮した事業内容を検討していく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

1.76 -> 27-1-1	CV AST TITLE								
事務事業名	185	185 つくば市民文化祭開催事業							
予算科目	01-0	030	110	-21 市民文	化祭開催に	こ要する経費	ŧ	担当部課	市民部文化芸術課
市長公約								係名	文化振興係
	I -2	3	1	文化芸術	による自己	表現・交流	の機会の推	新規・継続	継続
戦略プラン	I -2	3	4	市内文化	芸術活動の	支援		事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)					(第2期)	事業期間	毎年度	
								11住み続けられるまちづくりを	
	文化芸術基本法、つくば市文化芸術基本条例					芸術基本条例	an a	17パートナーシップで目標を達成しよ	
根拠法令等						SDGs			

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	市民
目的	文化芸術活動への参加意欲の向上を図るとともに、文化芸術作品に触れる機会を提供することで、市民の 文化芸術意識の高揚を図る。
概要 (取組内容)	市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場とした参加団体及び個人の作品展示やステージ発表のほか、音楽会、小中学校芸術展などを実施する。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算	草額	(千円)	12, 257	14, 595	19, 154	17, 023	17, 023
事	決算	草額	(千円)	11, 183	11, 618	18, 026	0	0
業		一般財源	(千円)	11, 183	11, 618	18, 026	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	5, 403	5, 866	9, 019	5, 866	5, 866
人		正職員従事割合	(人)	0.70	0.80	1. 20	0.80	0.80
	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	260.00	140.00	140.00	140.00	140.00
	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、つくスマアプリ、掲示物などでの情報発信、アンケート調査
企画・立案、計画	市民文化祭実行委員会、会場別催事委員会の実施
実行	市民文化祭への出展・出演
評価、検証	アンケート調査

	指標名	市民文化祭来場者数 (人)								
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
	目標値	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0			
1	実 績	35, 503. 0	0.0	0.0	28, 300. 0	27, 964. 0	26, 172. 0			
	指標の 概要	(個別施策 I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用)								

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \\ 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		地域交流センター担当者会議での協議を経て、適切な運営ルールの設定を行った。また、助成金説明会を 催事委員会とは別に行うことで確実に助成金申請手続きの周知を行うことができ、事務処理の効率化につ ながった。	
前年度を上回る参加団体・団体人数での開催となった。 成果			
課	業務	事後アンケート結果に基づき改善点を洗い出す必要がある。	
題	組織、予算等	物価高騰に対応するため、助成金の支給対象や上限額を再考する。	
改善目標		アンケート結果や各会場の担当者からのヒアリングに基づき、運営ルールや手順の見直しを行う。	

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

<u> </u>	1114								
事務事業名	036	036 文化芸術が身近にある環境づくり							
予算科目	01-0	01-030110-15 文化行政に要する経費						担当部課	市民部文化芸術課
市長公約								係名	文化振興係
	I -2	3	2	文化芸術	が身近にあ	る環境づく	り	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	補助金(間接)
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)						事業期間	期間限定複数年度	
10万月 四									11住み続けられるまちづくりを
	文化芸術基本法、つくば市文化芸術基本条例					芸術基本条例		17パートナーシップで目標を達成しよ	
根拠法令等					SDGs				

事業の概要

1 /1 - 100-	
対象	市民
目的	地域における異文化理解と多文化共生社会の促進に向けて、文化芸術を通じた市民の相互理解を促進する。
概要 (取組内容)	芸術家が滞在し作品を作る「アーティスト・イン・レジデンス」を積極的に誘致し、市民がアートに触れる機会を増加させる。

コストの推移

	- 2 · 1 *21E49							
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
予算額		(千円)	0	0	0	0	0	
事	事 決算額		(千円)	0	0	0	0	0
業費	-	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	п/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	1, 460	2, 121	1, 495	691	691
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0.30	0. 20	0. 10	0. 10
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	40.00	20.00	20.00	0.00	0.00
具	II/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、掲示物等での情報発信
企画・立案、計画	NPO法人(市民活動共同型事業での連携)
実行	NPO法人(市民活動共同型事業での連携)
評価、検証	アンケート調査、アイラブつくばまちづくり推進委員会

	指標名	アーティストイン	成果指標				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
,	目標値	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0
1	実 績	10, 000. 0	0.0	0.0	1,500.0	600.0	0.0
	指標の 概要	(個別施策Ⅰ-2-	③文化芸術の推進	及び文化財の保存	と活用)		

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		複数の連絡先を確保し円滑な連絡体制を早期に整えた。
	成果	実施に向けて準備を進めていたが、協働していた市民団体が活動を休止したため、中止となった。
課	業務	協働団体側の理由による事業の中止への対応を検討する。
題	組織、予算等	協働団体による自走に向けた支援のあり方を検討する。
란	文善目標	協働団体の活動休止により協働事業としての実施が難しくなったため、今後のアーティストインレジデンスのあり方を再考する。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	1	計画から大幅に遅れている。 (未達成)
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

1.76.577.11	111 11/2								
事務事業名	186	186 メディア芸術振興事業							
予算科目	01-030110-22 メディア芸術振興に要する経費					具に要する経	担当部課	市民部文化芸術課	
市長公約								係名	文化振興係
	I -2	3	3	科学と融	合した文化	芸術の振興		新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)						事業期間	毎年度	
100万11年10日									11住み続けられるまちづくりを
根拠法令等	文化芸術基本法、つくば市文化芸術基本条例						an a	17パートナーシップで目標を達成しよ	
		Non-Non-Non-Non-Non-Non-Non-Non-Non-Non-					SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	科学技術に対する親近感を醸成するとともに、新しい芸術表現の可能性を体感、創造し、つくばらしい文 化芸術の振興に寄与する。
概要 (取組内容)	市内大学、研究機関等と連携し、2事業を実施する。 ・つくばメディアアートフェスティバル メディア芸術作品を市民に周知するためのイベント(隔年)開催に向け、参加アーティストの選定を進める。 ・つくばショートムービーコンペティション 10分以内の映像作品を募集し、コンペティションを実施する。

コストの推移

	2 × 1 × 2 Jm D							
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算額		(千円)	1,698	13, 099	2, 124	9, 978	2, 124
事	事決算額		(千円)	1,657	7, 665	1,827	0	0
業		一般財源	(千円)	1,657	7, 665	1,827	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	E/C	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	5, 061	7, 417	3, 912	3, 964	3, 745
人		正職員従事割合	(人)	0.70	1.00	0. 50	0. 50	0.50
件費	性 内 費 訳	正職員時間外勤務	(時間)	120.00	210.00	120.00	210.00	120.00
貝	II/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、つくスマアプリ等
企画・立案、計画	実行委員会、共催団体との審議
実行	作品の応募、審査、ワークショップ等
評価、検証	アンケート調査

7	71 - 1 H D							
	指標名	指標名 メディアアート入場者数 (人)						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	3, 000. 0	3, 000. 0	0.0	3, 000. 0	0.0	
1	実 績	0.0	0.0	3, 046. 0	0.0	3, 717. 0	0.0	
	指標の 概要	(個別施策 I − 2 − して実施。	③文化芸術の推進	及び文化財の保存	と活用)隔年開催。	令和2年度から今	予和3年度へ延期	

	指標名	ショートムービー	入場者数		(人)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	120. 0	120.0	120. 0	120. 0	120. 0	120.0
2	実 績	0.0	0.0	63. 0	91. 0	80.0	106.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
"	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	年度の課への対応	メディアアートフェスティバルの1事業であるサイエンスハッカソンとして、高エネルギー加速器研究機構との協働やワークショップの依頼先、招待作家を決定した。
ショートムービーコンペティションは、前回を上回る150作品の応募と106人の入場者数となっ成果		ショートムービーコンペティションは、前回を上回る150作品の応募と106人の入場者数となった。
課	業務	配布チラシの内容を再考し、上映会の集客につなげる必要がある。
題	組織、予算等	多様な属性から審査委員を集め、意見の偏りを防ぐ。
改善目標		様々な団体から実行委員が組織されていることを今まで以上に生かし、事業に貢献できる施策をそれぞれ 検討していく。

<u>評価</u>

<u> </u>		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	